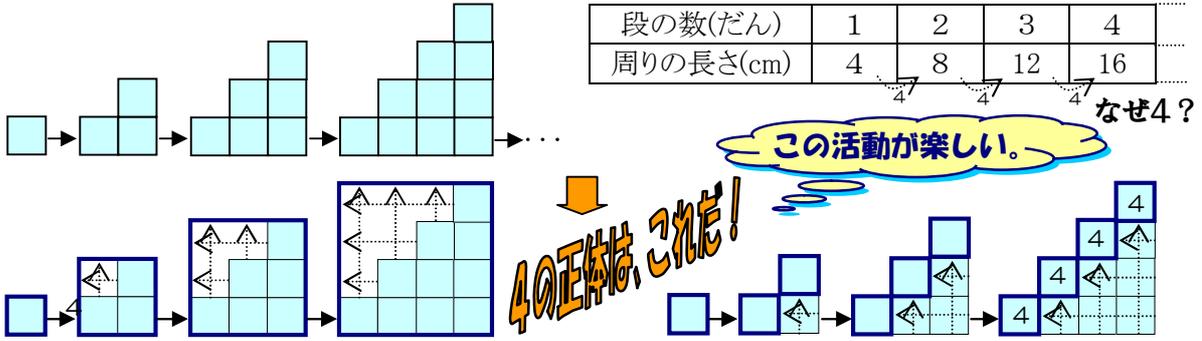


思考を伴う「算数的活動」に! 数の正体を具体で見る 答えが出てから考える

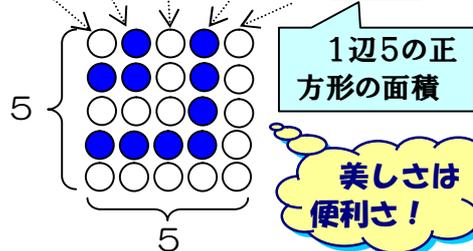
例1: 段の数と周りの長さ (変わり方)



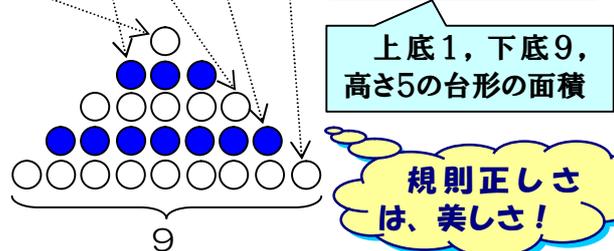
作業的・形式的に表を埋め、解を求めて終わりではなく、「この場合・・・なぜ4ずつ増えていくのだろうか」と疑問を抱かせ、変化のきまりの背景を探ろうとさせる。上図のように、数える辺を移動させると、4ずつ増える理由が目に見える。

例2: 1 + 3 + 5 + 7 + ... の和と、かけ算 (計算の工夫)

① $1 + 3 + 5 + 7 + 9 = 5 \times 5$

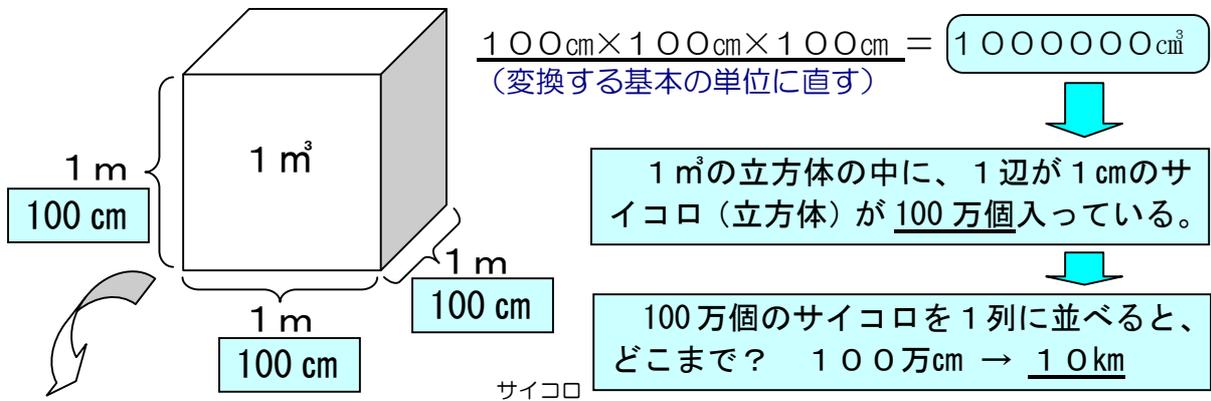


② $1 + 3 + 5 + 7 + 9 = (1 + 9) \times 5 \div 2$



規則正しく並んでいるたし算は、かけ算で求めることができると認識させる。

例3: $1 \text{ m}^3 = 1000000 \text{ cm}^3$ (単位変換と量感)



A町 量感を養うため、多様な形に変化させる。 えっ、10kmも! B町

数値から映像 (イメージ) が浮かぶように指導!